

LA WORLD 022

グローバル
ランドスケープ通信
vol.22



Ausser Rohder Viadukt

EM2N Architekten/Schweingruber Zulauf
Landschaftsarchitekten/Stiftung PWG

スイス、チューリッヒ市内にある19世紀末につくられた二つの石造りのアーチ橋。当時の鉄道交通をサポートするためにつくられたが、輸送機能としての需要が後退し、さらにその巨大さ故にまちを分断する大きな障害物となっていた。2004年に設計競技がこの場所で行われ、アーチ下は文化／商業インフラ、橋上は自転車と歩行者のための空間として新しく生まれ変わり、歴史的価値を持つチューリッヒの新名所として都市を紡ぐ大きな撚り糸となった。



生まれ変わった 2つの高架橋が 都市を紡ぐ

アーチ下のマッチ箱のようなファサードを持つ58棟もの建築空間は衣類、雑貨ショップやレストラン、カフェ、バー、チーズショップ、アトリエ、スタジオなど様々な用途として使用されており、約500mに及び軒を連ねている。さらに“Markthalle”とよばれる大きな区画では屋内マーケットが週6日で開かれており、農家や卸売業者達が新鮮な食料や生活用品を販売している。それらは周縁の既存緑地やリマト川、文化施設と相まって、野外コンサートや高架橋のライトアップイベントを行ったりなどまち全体に賑わいをもたらす軸となっている。



高架橋が軸となって既存の緑地群をつなぐ

1894年8月Zürich西部、二つの高架橋が工場が集積地帯であった“Kleis5”(5区)に開通した。当時の自治体の名を冠するwipkinger高架橋はZürich中央駅からwipkingen駅への道中を接続し、Letten高架橋はLetten駅へと通じるものであった。

1990年代、スイス連邦鉄道(SBB)は中央駅からZürich北部に位置するOerlikon駅間の輸送交通の強化を目指して、“FIL ROUGE”(フランス語で『赤い糸』)と呼ばれる4車線を新たに二つの高架上に構築する計画を実現しようとしていた。

しかしそれは、近くの家々の窓から3フィート程しか離れていない場所を列車が通過する、というような内容であったため、住民の大きな抗議を受けた。計画反対の声は日に増し、近隣住民、有識者や政治家達は思想やコミュニティの垣根を越えた超党派委員会“Verrückt das Viadukt”を結成した。

委員会の要求は建設そのものを阻止することにはなく、西側の居住エリアとの近接を変更することにあったが、それは大々的な署名運動にまで発展し、自治体でそれらが議題にとり上げられ、「赤い糸」計画はついに中止されることとなった。

1998年、SBBの交通強化構想も時代遅れとなり、既にletten高架橋は交通需要の著しく減少したLetten駅と共に廃止されていた。この頃、アーチ下の空間は工業地帯でもある5区



ガード下のスペースには様々な商業スペースで構成され、人がにぎわう

の中小企業の拠点となっていた。特に近年では、地元の熟練工などがいただけではなく、近隣の活性化のために多くの活動を行っている革新的なテナントも腰を据え始めていた。

だが、この第二次世界大戦の爆撃の中をも生き残った古い高架橋を改修する必要が生じ、彼らはSBBから2003年3月までの立ち退きを命じられた。再び市民の抗議が起こり、とうとう市とSBBは、自らに向けられた度重なる不信の声に対して対抗策を講じなければならなくなった。行政主導で地域住民のワークショップを開催し、それを経て、設計競技を行うことで高架橋を更新する優れたアイデアを募ることとなった。

2010年夏、コンペで選ばれたZürichのEM2N ArchitektenとSchweingruber Zulauf Landschaftsarchitektenの設計のもと、高架橋は改修された。石造りアーチは歴史的価値を見出され、Letten橋上の空間は線路の枕木を元にモジュールを決定したコンクリート厚板と、棲息するイワカナヘビに配慮したバラストの構成でデザインされている。高欄も当時のletten橋のそれを踏襲している。トップライトを取り入れた現代建築は歴史ある石造りのテクスチャーと対比して、互いを一層引き立てている。

NYのハイラインやパリのプロムナード・プランテにも劣らない、Zürichの新しい生活基盤の登場である。(取材:大川雄三)

info

Address: Viaduktstrasse, 8005 Zürich, Schweiz

Access: チューリッヒ中央駅から徒歩10分、
または駅からトラム4番/13番に乗り、
Dammwegで下車。所要時間約5分

Hours: 商業施設は原則日曜日閉店

Web: <http://www.im-viadukt.ch/>

Fee: 無料

Map:

